

白鷹町産業フェア2015

ふるさとしらたかにふれた夏。



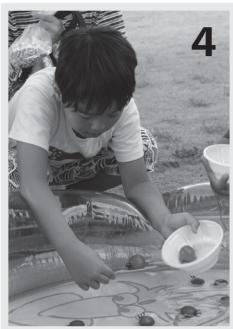
1



2



3



4



5



6



7

8月8日、9日の2日間、白鷹町文化交流センターあゆ一むにおいて「白鷹町産業フェア2015」が開催されました。

昨年から、8月に日程を変更して開催されている産業フェア。今年も町内企業による食品販売や製品展示、イベント体験はもちろん、町民参加の展覧会である「我が家のお宝展」も、昨年引き続き行われました。

また、今年の産業フェアは、初の試みとして初日を午後4時にスタート。夏まただ中のこの日も、日中はうだるような暑さでしたが、日が落ちる頃にはすっかり涼しくなり、来場者のにぎわいも増していました。辺りが暗くなり始め、準備された照明でライトアップされた会場では、よさこい白鷹櫻鷹会によるよさこい演舞、おれまか jazz オーケストラによるジャズライブが披露され、来場者はその楽しいリズムに合わせて踊ったり、手拍子をしたりと、一層の盛り上がりを見せました。

家族連れや、夏休み中の子どもたちが、町内の産業にふれ、見て、味わって、親しみを深めたイベントになりました。

1. ライトアップされた会場は大盛り上がり 2. 友達や兄弟でイベントを楽しむ夏休み中の子どもたちの姿も 3. 数量限定で白鷹町産のえだまめを使った新製品の試食が行われた 4. 子どもに大人気のミニトマトすくい 5. 町の産業にふれる来場者 6. 8日午後4時から産業フェアスタート 7. めったに見ることができない町民自慢のお宝に興味津々

キノコ 茸に虜り憑かれた男「丸信」 「山の記録」出版を祝う会

「丸信」こと丸川信浩さん(蚕桑)の著書、「山の記録」の出版を祝う会が8月8日、パレス松風で盛大に開催されました。

キノコ採りの名人として、長年山に登り続けている丸川さん。「山の記録」は、平成元年から25年まで、丸川さんが記録してきたキノコ採りのことを中心に、家族や友人との会話などが鮮明につづられています。

丸川さんは、「家族や友人に恵まれたおかげで、本を出版するという夢を叶えることができた」と、感謝と喜びの言葉を述べ、最後に、長い間一番近くで支えてもらってきた奥さんの丸川恵子さんにひと言、「ありがとう」という感謝の気持ちを伝えました。

